

高 新 Shinsho 翔

「熊野と防災」授業の報告

NPO 法人和歌山災害救助犬協会の理事長榎本義清氏他スタッフ2名による講演を実施した。はじめに榎本氏がボランティアや津波避難に関する基礎知識、実際に活動された新潟県中越沖地震・東日本大震災や台風12号での活動の様子等を説明された。その上で、近い将来発生が予測されている東海・東南海・南海地震への備えやそれに対する現在の中高生に期待することを話された。また、新宮市内津波想定(CG)では、津波が来たときの市内各地の様子を見ることで、改めて津波の脅威を感じた。その後、災害救助犬3頭とスタッフによるデモンストラクションや救助犬とのふれあいを行った。今回の講演を通して生徒たちは、救助犬の大きさやよく訓練されていることに驚くとともに、現地で活動された方々の言葉の重みで、防災に関する意識を高めた。

2月24日(金)



インターンシップ報告発表会

1年生「産業社会と人間」の学習の時間に1学年全体でインターンシップ(就業体験)の報告発表会を実施した。この報告会では、1月25日から27日の3日間おこなわれたインターンシップについて、それぞれが体験した成果や反省点をレポートにまとめて各クラスで発表し、その中で選ばれた代表者11人の発表となった。働くことの厳しさを知った、本当にこの仕事に就きたいと思った、挨拶が大切だと思った、職場の人への感謝など、体験できてよかったと語った。そのなかで、「もし、インターンシップに行かなかったら、自分のしたい仕事を何も知らないまま、自分の将来にむけて進んで後悔してしまう可能性もあったと感じ、自分の将来は重要なので私の将来にあっているか考えていきたい」という報告もあった。

2月24日(金)



卒業式

第5回卒業証書授与式が举行された。七瀬高至校長は式辞にて「震災や就職難と経験してきたように、様々な困難がこれからはあると思いますが、人との出会い、時間を大切に生きてください。皆さんに出会いの大切さを表す『一期一会』の言葉を送ります。」と式辞を述べた。在校生代表として生徒会長の前田建人君が「卒業生の皆さんが残してくれたものを大切にします。卒業生の皆さんも三年間過ごしてきた思い出を胸にがんばってください」と卒業生に向かって言葉を送った。数々の祝辞を受けて最後に卒業生代表の汐崎達也君が「三年間を振り返って当たり前前の生活を支えてくれた人に感謝を忘れず、今度は自分たちが周りの人のために何かをしてあげられる人間になりたいです」と答辞を述べた。

3月1日(木)



1・2年対象進路説明会

1・2学年生徒全員を対象の進路説明会を実施した。生徒たちはあらかじめ希望していた分野にそれぞれ分かれ、21会場で進路に関する学習を行った。それぞれの分野では大学や専門学校等の先生が講師を務めていただいた。特に1年生の就職の分野では「進路の意識」や「正社員とフリーターの違い」をテーマにした寸劇を見、2年生の就職の分野では「面接の成功例と失敗例」に関する寸劇を見て挨拶の仕方を学習した。また進学のような分野では受験のための勉強方法や今から準備しておくべきこと等の指導を受けた。生徒からは「とてもわかりやすかった」「とても役に立った」「進路について考える参考になった」「就職は甘くない」「就職に向けて頑張ろうと思った」等の感想が寄せられた。

3月15日(木)



4月トピックス

5日(木)…離任式 6日(金)…始業式・新任式 9日(月)…第6回入学式 10日(火)…新任式・対面式・身体測定・1年クラブ紹介
11日(水)…写真撮影(集合・個人) 16日(月)~18日(水)…新入生研修 19日(木)…クラブ本登録 26日(木)…生徒会役員選挙

